保護者の皆様へ

『入学支援シート』を使ってみませんか？

足利市特別支援連携協議会

お子さんの楽しい学校生活のために

子どもたちには、さまざまな個性があり、豊かな可能性があります。小学校への入学を迎え、幼稚園や保育所・保育園などで、いままで大切に育ててきたことや、小学校に知っておいてもらいたいことがありましたら、教えてください。

一人一人のお子さんが、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、お子さんに必要と思われる支援や配慮について、考えていきましょう。

こんな子どもたちを支援するために

・すこやか発達支援保育を受けていた子ども
・小学校の特別支援学級、通級指導教室・特別支援学校での学習が予定されている子ども
・通常の学級で学習をする中で、丁寧な引き継ぎをしたい子ども

記入する人

「保護者」が中心となって記入します。
保護者の了解の元に、入学前の「幼稚園・保育所・保育園等の担当者」及び「療育機関の担当者」もそれぞれ記入します。

記入することは　～楽しい学校生活を送るためのヒント～

別紙の「記入例」を参考にしてください。記入に際しては、引き継ぎを受ける側がわかりやすいよう、できるだけ具体的にお書きください。

幼稚園、保育所等での日々の実践には、担当者の方が何気なく行っていることの中にも子どもの落ち着きを導き、成長発達を促している手だてがたくさんあります。それらは、子どもたちを引き受ける学校にとって、子どもを正しく理解し、有効な支援を考えていく上での大切なヒントとなります。

ぜひ、その子が楽しく学校生活を送ることができるヒントを教えてください。

小学校へつないでいきましょう

1　引継ぎをする人

保育所・幼稚園の担当者と学校の関係者が、話し合う機会を持ちながら引き継ぎます。

保護者が直接学校へ出向いて伝えたい場合は、１日入学などを利用して、いつどのように話し合いを持つか、学校と相談して行なってください。

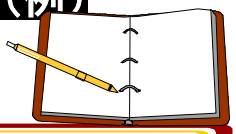
2　引継ぎの時期　（　入学する学校が決定した後　）

学校がこの資料をもとに準備を進められるよう、１日入学の頃（２月ごろ）、または新年度前の３月中が望ましいと考えられます。

※　入学後（４月以降）も、お子さんへのよりよい支援についての話し合いで、是非ご活用ください。

お問い合わせ：　足利市教育委員会事務局学校教育課指導担当特別支援教育担当　（20－2220）

入学支援シート作成から活用までの流れ　（例）



12月初めごろ　　シートの準備

・就学のための教育相談をした場合、結果のお知らせとともに保護者あてにシートが送られます。（市教育委員会学校教育課から）
・それ以外の方で使いたい場合は、幼稚園・保育所(園)に申し出ます。
・市の教育研究所ＨＰからダウンロードすることもできます。

12月～1月　　シートの記入

①保護者の部分を記入します。必要な部分のみの記入でもかまいません。

・お子さんの得意なこと、好きなこと、伸びた所など今後の学校生活や学習に生かすことができる内容
・お子さんが苦手なことや、学校生活で配慮すること
・不安になったり、つまずいたりした時のサポートの仕方
・お子さんに合う言葉かけや工夫した教材教具、意欲的に学習できるための支援方法、落ち着いて学習に取り組める環境設定の工夫

②幼稚園・保育所(園)や療育機関にシートの記入をお願いします。記入してもらったら、一緒に内容を確認しましょう。

２月～3月　　シートの提出

保護者が直接学校へ提出しても、保育所・幼稚園の担当者に提出をお願いしてもかまいません。どちらとも、学校と話し合う機会を持ちながら手渡すことをお勧めします。

保護者が直接手渡す場合は、１日入学などを利用して、いつ、どのように話し合いを持つか、学校と相談して行ないましょう。

シートはコピーしファイルにとじて、家庭でも保管しておきましょう。

4月　（入学後）　　シートの活用

シートの提出をきっかけとして、保護者(あるいは記入に関わった人)と担任の先生で、お子さんのことで話す機会を設けていただくとよいでしょう。